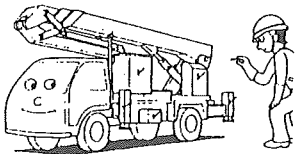
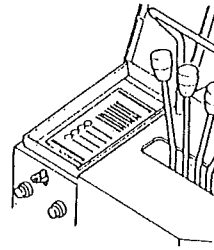


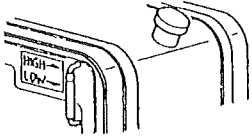
# 高所作業車始業点検



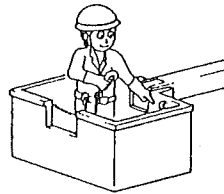
各部に異常のないことを確認してください。



AWLの作業前点検を行なう。  
(AWLの項を参照)



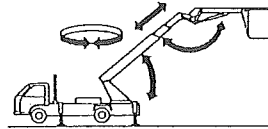
作動油の油量が走行状態で規程油量あることを確認してください。



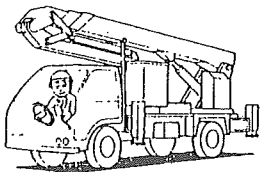
バケット内作業者は墜落防止のために安全帯を着用後、安全帯とクサリを金具に確実に掛けてください。



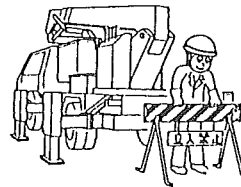
エンジン始動後、低速回転で十分に暖気運転してください。



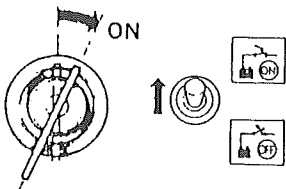
上部操作で各操作レバー、スイッチ等を操作して異常なく作動することを確認してください。



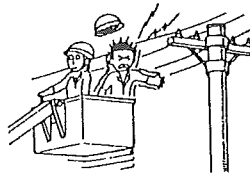
P T O 操作前に各操作レバー、スイッチ等が中立またはOFFになっていることを確認してください。



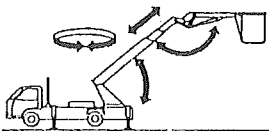
一般道路上で作業する場合は本機の前後には立入禁止等の標識を立て、一般の通行人および自動車による事故を防いでください。  
(道路使用許可書など要す)



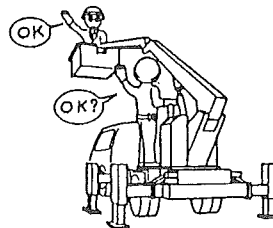
本機操作前に、スタータスイッチ(車両側)、電源スイッチ(上部操作側)ともONにしてください。



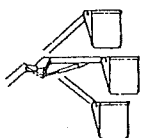
操作中は周囲の状況をよく確認してください。  
特に高圧線には近づかないようにする。



下部操作で各操作レバー、スイッチ等を操作して異常なく作動することを確認してください。



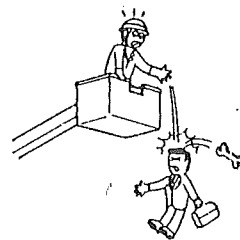
バケットに搭乗者がいる場合、下部での操作は必ず連絡をとりながら確実な操作を行なってください。



Bucket kept horizontal  
バケット水平保持

作業従事者は必ず保護帽を着用してください。

バケット内の積載物は作業車の必要最小限の工具等のみとし、その他の機器等を積載しないようにしてください。



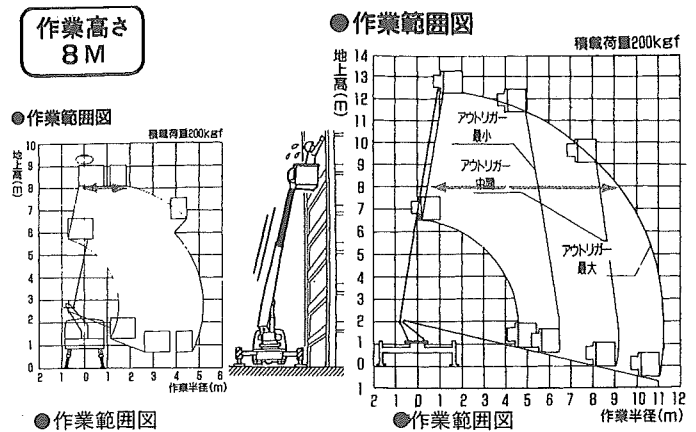
バケット内の作業者は下へ物を落とさないようにしてください。

# 効率のよい作業をするためには、現場の状況に合った機種を選定が大切です。

## 揚程の選定には

作業する場所の高さが8mの場合、地上最大高8mを選びがちです。

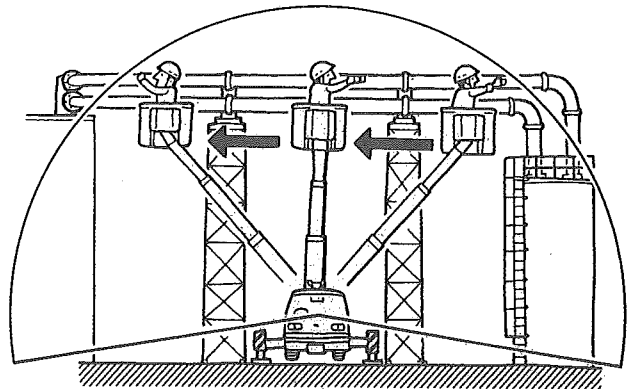
理論上は、それで充分なのですが、作業したい高さ8m付近での作業範囲を調べてみますと、作業半径がほとんど無いことに気づきます。この様な場合、1ランク上を選択すれば、高さ8m付近での作業半径が得られ、車両を移動せずに高所作業装置の作業範囲内で自由自在に動きまわりながら作業効率を高めることができます。



## 機種を選定には

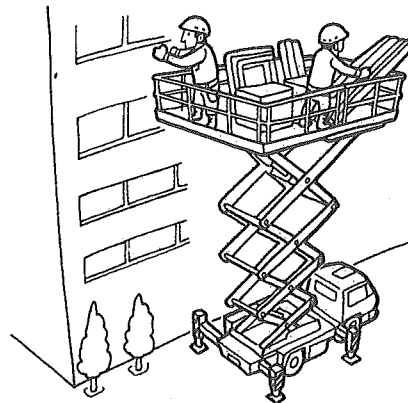
- 広い作業範囲が必要な工事には …… 直伸式・屈伸式スカイマスター

高所を移動しながら連続した作業が必要な、配管やガス系統の点検・塗装作業、作業位置の下に障害物がある場所での工事や道路や歩道をまたいで工事には、高所での作業範囲の広い直伸式スカイマスターを選定します。



- 大量の資材や作業員を搭載して工事をする場合には …… 垂直昇降式スカイマスター

ダクトや外壁の修理工事、高架橋の吊足場取付け・解体、大型設備・機械の点検作業、大型看板の取付けなど大量の資材や作業員を高所へ運んで工事には、広い作業台を持ち積載能力に優れた垂直昇降式スカイマスターが便利です。



- 軒先や障害物の多い場所で大量の資材や作業員を搭載して工事するには …… 重荷重式スカイマスター

大量の資材や工具類を積み込んで加工しながら作業したいが、障害物が多く、目標地点に近づけないような現場では、直伸式と垂直昇降式の特徴を合わせ持つ重荷重式スカイマスターが機動力を発揮します。

